

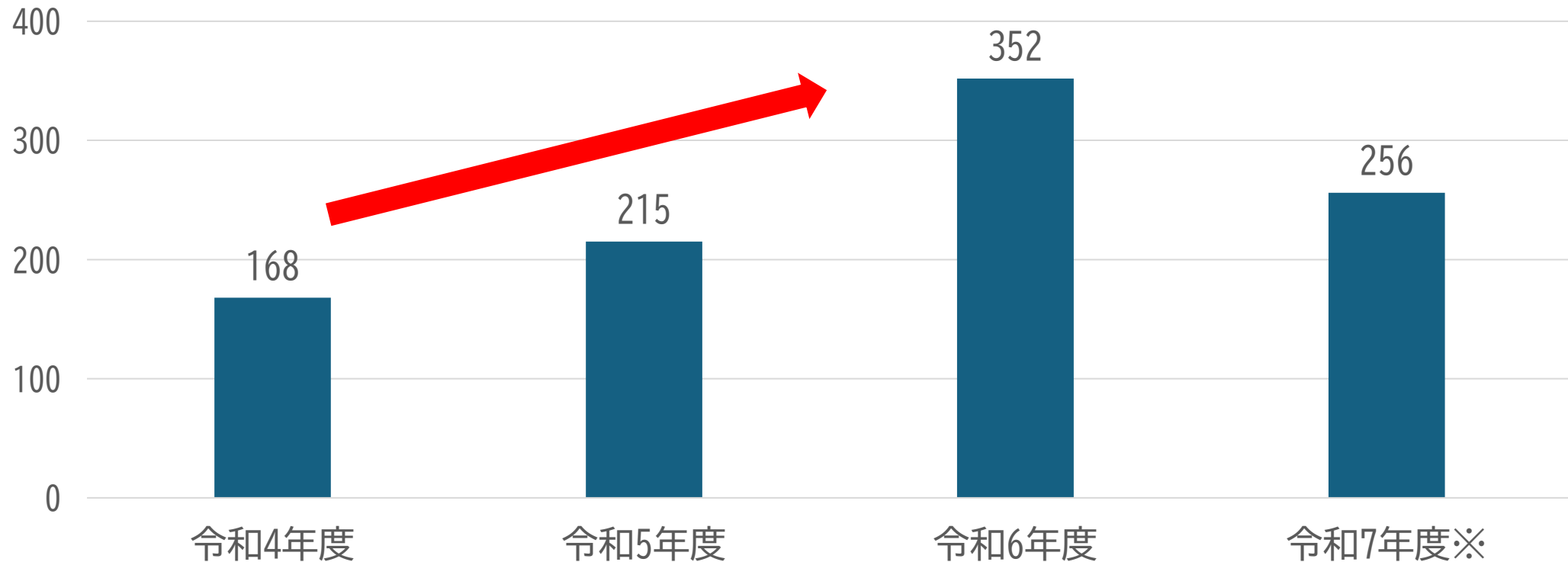
# 令和7年度 在宅医療・介護連携推進事業実績報告

福祉部高齢介護課

# 1 北埼玉在宅医療連携室の設置運営（羽生市と合同設置）

- ▶ 北埼玉在宅医療連携室は、加須市と羽生市が共同で北埼玉医師会に委託し、平成27年9月に設置した機関。医療・福祉に精通したコーディネーターが地域の医療・介護関係者への情報提供や連携支援を行っている。
- ▶ 北埼玉在宅医療連携室への相談件数は増加傾向にあることがわかる。

相談件数の推移(加須市分)

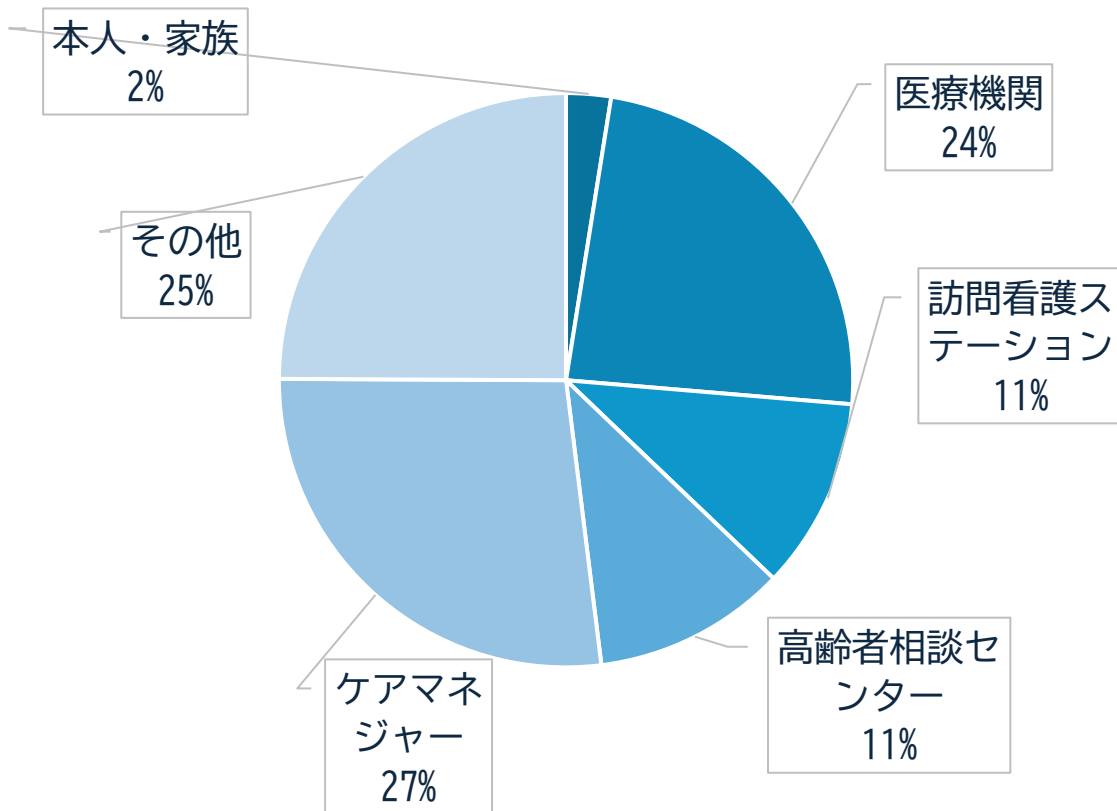


※令和7年4月～令和8年1月の値

# 1 北埼玉在宅医療連携室の設置運営（羽生市と合同設置）

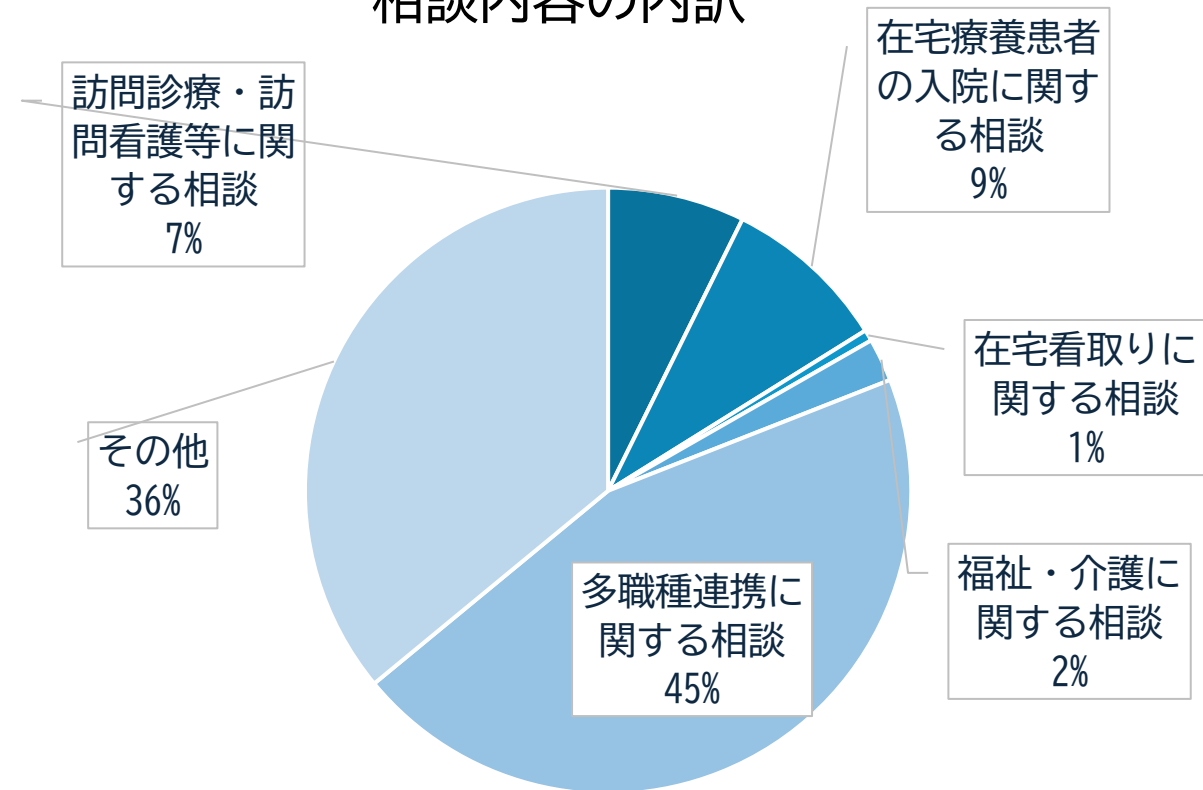
- ▶ 相談者の内訳は医療関係者が35%、介護関係者が38%と、医療・介護双方から相談が寄せられている。
- ▶ 相談内容は、医療・介護の連携など多職種連携に関する相談が45%を占めている。多職種連携に関する相談では、ICTを活用した情報連携に関する相談が増加している。

相談者の内訳



※ R4~R7までの実績値より作成(n=991)

相談内容の内訳



※ R4~R7までの実績値より作成(n=998)

## 2 多職種連携会議の開催（北埼玉在宅医療連携室主催）

- ▶ 地域の実情に合わせた医療・介護の多職種連携を促進するため、関係者が意見交換できる場を設けるとともに、組織間の相互理解を深めるための会議を開催している。
- ▶ 令和7年度は2つの会議を計4回開催した。

### 在宅医療地域連携ミーティング

（令和7年8月26日、令和8年2月24日）

#### <第1回>

- ① 情報提供（埼玉県在宅医療の連携体制構築支援事業について）
- ② グループワーク（看取りを含め、患者の意思を尊重した医療・ケアを提供できる体制について）
- ③ 入退院支援ルールを活用状況について

#### <第2回>

- ① 前回のワークを参考とした取組の現状と今後の課題について
- ② 入退院支援ルールを活用状況と改定箇所について
- ③ その他、多職種研修会開催の報告とお知らせ

### 在宅緩和ケア地域連携ミーティング

（令和7年6月24日、令和8年1月27日）

#### <第1回> 羽生総合病院認定看護師 茂木 香住氏

- ① 在宅緩和ケアについて
- ② 管内地域の「緩和ケア病棟」について
- ③ 緩和ケア病棟との連携について（意見交換）

#### <第2回>

「緩和ケア病棟との連携」に関する現状と課題について

### 3 多職種研修会等の開催

- ▶ 在宅医療・介護に関する幅広い知識の習得を目的に、様々なテーマで研修会を開催しており、令和7年度は以下の研修会等を実施した。

#### 『人生の最終段階における食支援 ～食べるを支える、食べられないを支える～』

##### □ 講 師

日本歯科大学教授

口腔リハビリテーション多摩クリニック院長

菊谷 武 先生

##### □ 日時等

令和7年11月25日（火）午後7時～／オンライン

##### □ 主 催

加須市・羽生市・北埼玉在宅医療連携室

#### ドキュメンタリー映画『あなたのおみとり』

□ 講 師 映画監督 村上 浩康氏

□ 日 時 令和7年10月15日（水）午後7時～

□ 会 場 パストラルかぞ 小ホール

□ 主 催 北埼玉在宅医療連携室

#### 『エンドオブライフにおける意思決定支援』

□ 講 師 佐久大学教授 島田 千穂先生

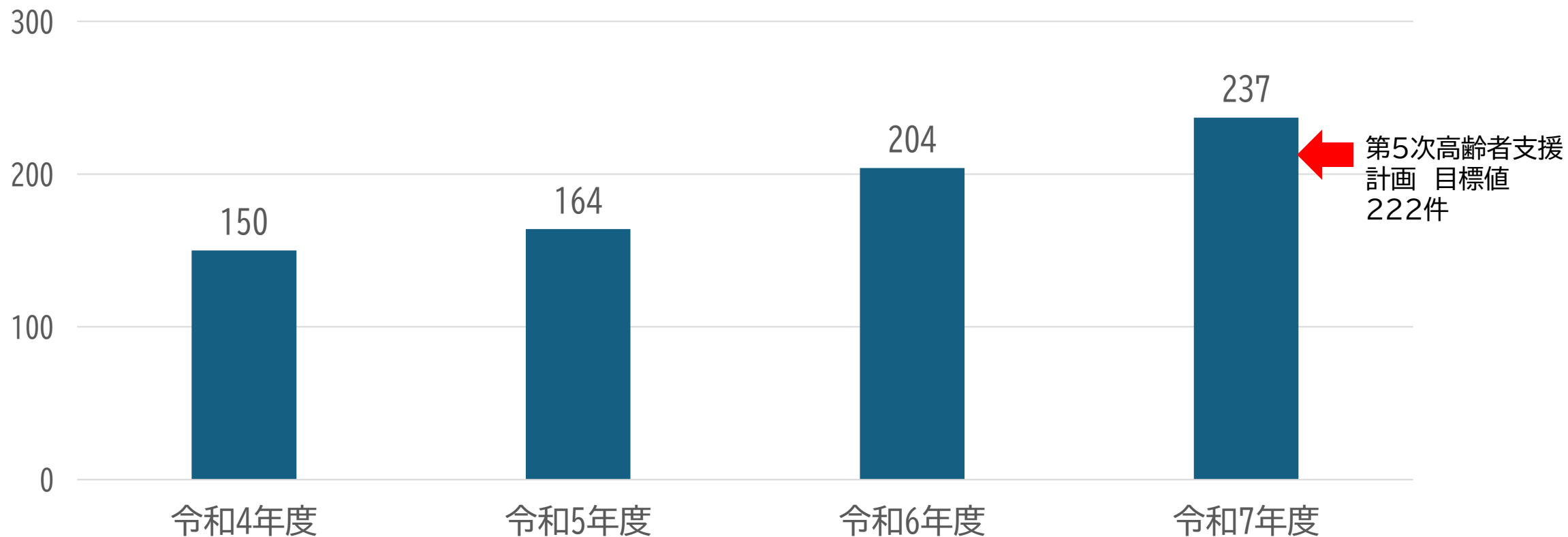
□ 日時等 令和8年2月4日（水）午後7時～／オンライン

□ 主 催 北埼玉在宅医療連携室

## 4 ICT連携（北彩あんしんリングの稼働状況）

- ▶ 北彩あんしんリング（正式名称：MCS＝メディカルケアステーション 北彩あんしんリング）は、北埼玉在宅医療連携室が運営するICTを活用した医療・介護関係者間の情報共有システム。平成29年度から導入・活用されている。
- ▶ 登録者数は増加しており、第5次加須市高齢者支援計画で定める令和8年度の目標値222件を既に達成している。

登録者数の推移（加須市分）

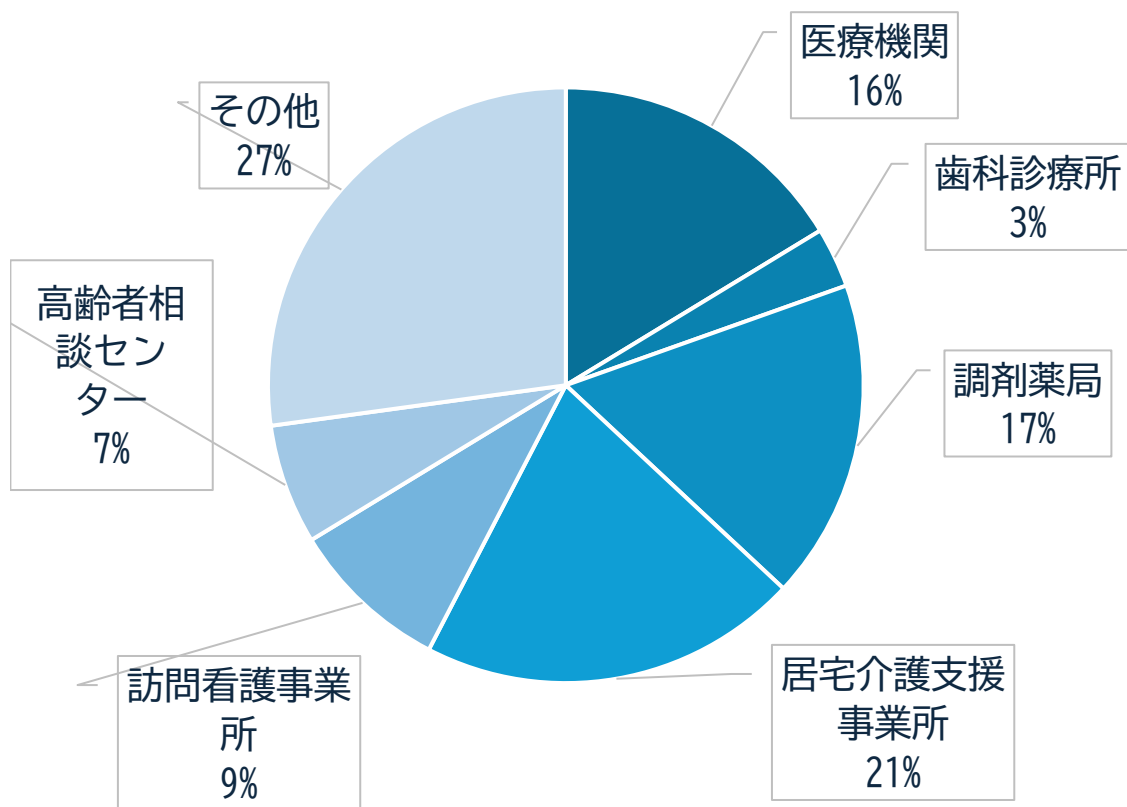


※令和7年4月～令和8年1月の値

## 4 ICT連携（北彩あんしんリングの稼働状況）

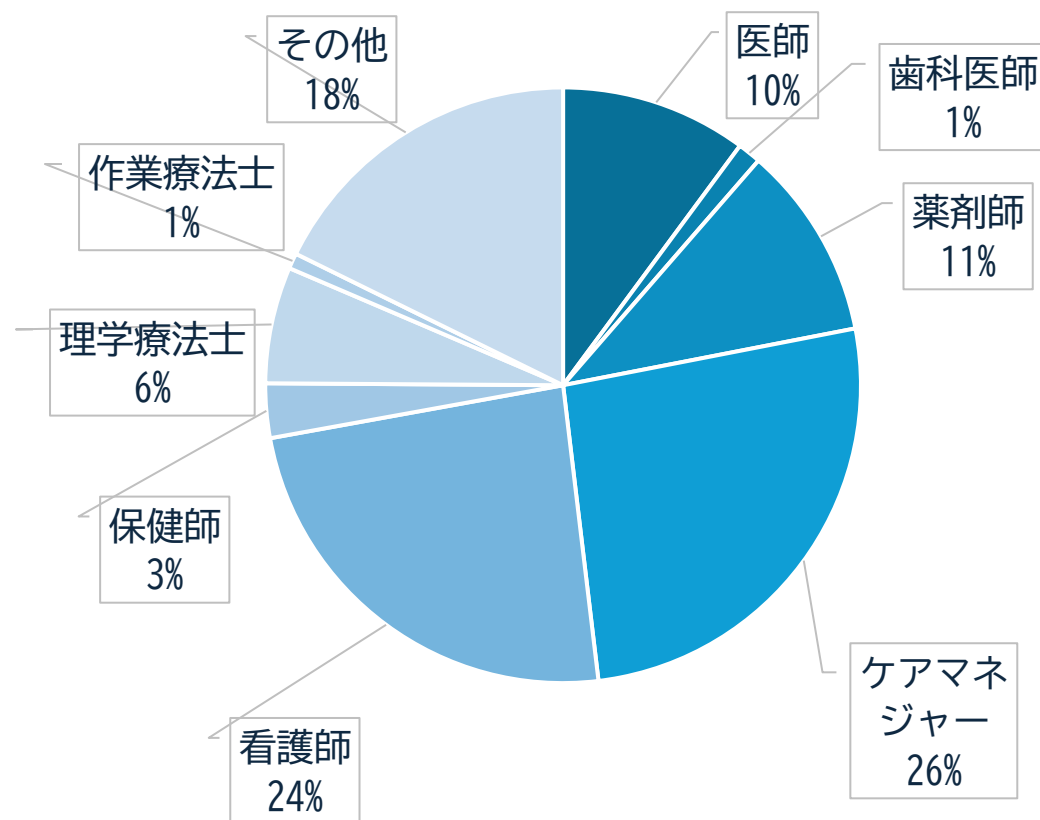
- ▶ 一部の業種・職種に偏ることなく、北彩あんしんリングが地域に広く浸透してきていることがうかがえる。
- ▶ 情報セキュリティの観点から、運用ポリシーの定期的な見直しにも取り組んでいる。

### 施設種別



※ R7の実績値より作成(n=92)

### 職種別

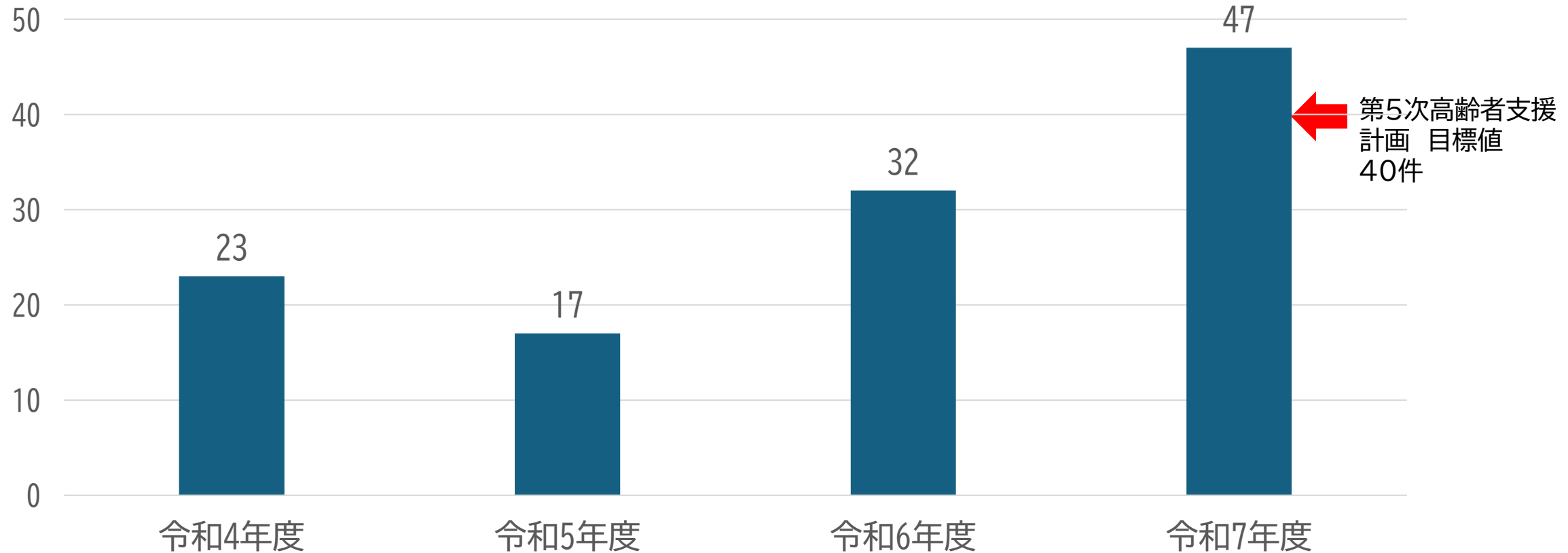


※ R7の実績値より作成(n=237)

## 4 ICT連携（北彩あんしんリングの稼働状況）

- ▶ 北彩あんしんリングでは、患者の同意を得たうえ、医師が患者個人のグループを作成することも可能となっている。
- ▶ 登録件数は増加しており、第5次加須市高齢者支援計画で定める令和8年度の目標値40件を既に達成している。多職種によるチームアプローチの必要性への認識が高まっていることがうかがえる。

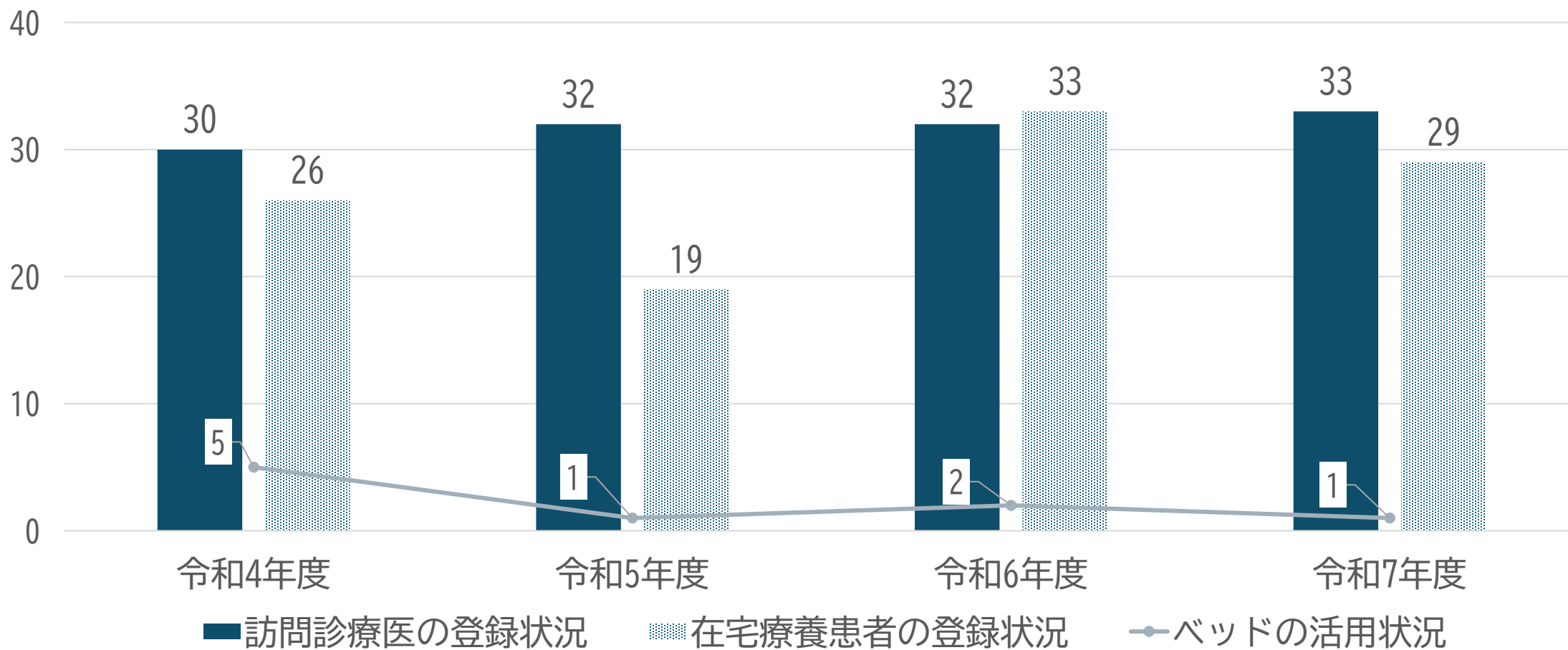
登録患者グループの推移



※令和7年4月～令和8年1月の値

## 5 在宅療養支援ベッドの運用

- ▶ 在宅療養支援ベッドは、救急車を要請する程度ではないが、入院したほうがよいと主治医が判断した在宅療養者を、円滑に入院できる体制を確保するもので、市内医療機関の協力のもと、平成27年度より実施している。
- ▶ 利用者数が少ない状況であり、支援者への周知方法等の検討が必要である。



※令和7年4月～令和8年1月の値